

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 新人看護職員教育事業費

(地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 看護係 電話番号：058-272-1111(内 2538)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,145 千円 (前年度予算額：3,145 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,145	0	0	0	0	0	3,145	0	0
要求額	3,145	0	0	0	0	0	3,145	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・看護の質の向上や、早期離職防止の観点から、新人看護職員の質の向上を目的とした研修を受けられる体制を整備することが必要
- ・新人看護師の採用が少ない病院など、自施設で研修が完結できない医療機関に対して、新人看護師を対象とした合同研修を開催
- ・新人看護職員研修を担当する教育担当者に対する研修を開催

(2) 事業内容

・教育担当者研修事業

開催回数：5日間、研修場所：岐阜市、受講者数：80名程度

研修方法：講義、演習

・多施設合同研修事業(新人看護職員対象)

開催回数：10日間、研修場所：岐阜市、受講者数：40名程度

研修方法：講義、実習

- (3) 県負担・補助率の考え方
地域医療介護総合確保基金

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,145	新人看護職員の指導者に対する研修の企画・運営
合計	3,145	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
 - I-2 地域医療の体制と医師・看護職員を確保する
 - ・医師・看護職員を確保する
- ・保健医療計画
 - 4-4 保健医療従事者の確保・養成
 - ・看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

(2) 後年度の財政負担

平成30年度以降、新人看護職員研修事業を廃止。
研修責任者研修は、3年に1度開催（令和2年度実施）

(3) 事業主体及びその妥当性

新人看護職員研修は看護職員の確保に必要な施策であり、長期構想でも位置づけた県の役割であるため、主催者として研修会等を開催

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 各医療機関の新人看護職員研修の指導体制を充実させることで、県内の看護師の質の向上と新人看護職員の離職防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
① 教育担当者研修 修了者人数	/	36人	80人	80人	80人	45%
② 多施設合同研修 参加人数		6人	40人	40人	40人	15%
③ 研修責任者研修 修了者数		24人	—	—	—	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	研修責任者や教育担当者について、研修会を開催した。また、新人看護職員に対して、合同研修を開催した。 （1）教育担当者研修 5日間、修了者数36人（定員40人） （2）多施設合同研修 6日間、修了者数6人（定員40人） （3）研修責任者研修 5日間、修了者数24人（定員40人）
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	新人看護職員教育事業を充実させることで、新人看護職員の離職防止や、看護師の質の向上が図られ、県内の看護の質の向上につながるため、必要性は高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 0	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響（参加自粛、定員の縮小等）により達成率は低かったが、受講者の97%以上は、「目標を達成できた、だいたいできた」と回答があった。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	看護職員の研修企画に関する豊富な知識等がある者へ委託している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 多施設合同研修について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり参加者が少なかった。また、令和4年度も新人看護職員の実習不足が想定されるため、演習の充実や、メンタルフォロー研修を継続して実施する必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、Web講義等開催方法を工夫し、コロナ禍でもより多くの新人看護師が参加できる機会を提供する。 新人看護職員にとってニーズのある研修内容とするため、参加者アンケート等を踏まえ、適宜見直しを行う。
